

第15回 ルービンシュタイン国際ピアノコンクール 入賞者日本ガラ・コンサート

THE 15th **ARTHUR RUBINSTEIN** INTERNATIONAL PIANO MASTER COMPETITION 25 April-11 May 2017 Tel-Aviv, ISRAEL

彼らを聴けば、世界が分る。ピアノの今が分る。

豊洲シビックセンターホール

2017年9月6日(水)

2017年
6月10日(土)
発売開始!!

写真はイスラエル、テルアビブ会場での演奏時

第1位
Szymon Nehring
(シモン・ネーリング)

第2位・聴衆賞
Daniel Ciobanu
(ダニエル・チョバナ)

ファイナリスト賞
最優秀室内楽賞
最優秀イスラエルピアニスト賞
Yevgeny Yontov
(エフゲニー・ヨントフ)

昼の部 13:00開演 12:30開場 全席自由 3,000円

メトネル 2つのおとぎ話 作品20
(ダニエル・チョバナ)

ハイドン ソナタ 変イ長調 Hob. XVI:46
(エフゲニー・ヨントフ)

ラフマニノフ 音の絵 作品39より 第3, 5, 7, 9番
(シモン・ネーリング)

休憩

ドビュッシー 12のエチュードより 第1, 2, 5, 6番
(エフゲニー・ヨントフ)

ショパン ポロネーズ 第5番 嬰へ短調 作品44
(シモン・ネーリング)

ムソルグスキー 組曲「展覧会の絵」
(ダニエル・チョバナ)

夜の部 19:00開演 18:30開場 全席指定 一般4,500円、学生3,000円

スカルラッティ ソナタ K9, K517, K32, K141 ニ短調
(エフゲニー・ヨントフ)

シマノフスキ 変奏曲 変口短調
(シモン・ネーリング)

プロコフィエフ ピアノ・ソナタ 第7番 変口長調 作品83「戦争ソナタ」
(ダニエル・チョバナ)

休憩

バッハ パルティータ 第6番 ホ短調 BWV830
(エフゲニー・ヨントフ)

ショスタコーヴィチ 24のプレリュードとフーガ 作品87より 第24番
(ダニエル・チョバナ)

ショパン ピアノ・ソナタ 第2番 変口短調 作品35「葬送」
(シモン・ネーリング)

【お申し込み・お問い合わせ】

日本アーティストチケットセンター **03-5305-4545**

日本アーティスト 検索

豊洲文化センター 03-3536-5061 www.kcf.or.jp

ピアノフォルティ株式会社 チケットのお問合せ <https://fazioli.co.jp/inquiry/tickets>

e+ (イープラス) eplus.jp

(右のQRコードからご予約・お問い合わせができます)



主催：ピアノフォルティ株式会社 (日本Fazioli 総代理店)
株式会社日本アーティスト

共催：公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 豊洲文化センター

後援：駐日イスラエル大使館、一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)

協力：ルービンシュタイン・インターナショナル・ミュージックソサエティ

※未就学児童のご入場はお断りいたします。

※曲目・曲順、および出演者はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

アルトゥール・ルービンシュタイン 国際ピアノマスターコンクール



「神に愛されたピアニスト」と呼ばれた20世紀の巨匠ピアニスト、アルトゥール・ルービンシュタイン（Arthur Rubinstein, 1887-1982）の名を冠すこのコンクールは、マエストロ・ルービンシュタインの高い演奏スタンダードを国際的に維持し、次世代のピアニストを育成する意図で1974年に創設された。3年に一度、イスラエルのテルアビブで開催される。初回の優勝者エマニュエル・アックスを始めとし、ゲルハルト・オピッツ（第2回）、アレクサンダー・ガブリリユク（第11回）、ダニール・トリフォノフ（第13回）、ボリス・ギルトベルグ（第13回2位）など、多くの世界的に愛されるピアニストを輩出し、今や世界最高峰のピアノコンクールの一つとなった。難易度の高いコンクールとして知られ、過去の日本人の入賞は寺田悦子氏（第2回、3位）のみ。日本からは井口秋子氏、園田高広氏、続いて中村絃子氏が1989年より長年審査員を務めた。同氏は2014年に同コンクールの日本初の入賞者ガラコンサートが企画されるという報告を受け、「21世紀に入って、多くの大コンクールが凋落していくなかで、極立つ勢いをみせるのはイスラエルのルービンシュタインコンクール。今や現代の三大コンクールの一つといっても過言ではないでしょう。その大コンクールの覇者たちを聴くことによって、現代が分る。」と述べている。

Fazioliとルービンシュタイン・コンクール

Fazioliにとって初参加となった2014年の第14回コンクールでは、最終ラウンドでファイナリスト6人中4人がファツィオリに変更し、本選で5人がファツィオリを弾いた。Fazioli代表としてコンクールを担当したピアノフォルティ株式会社は、同コンクール初の日本入賞者ガラツアーを2015年1月に開催した。

第15回コンクール（2017年4月25日-5月11日開催）は、傑出した30人のピアニストが腕を競い、コンクールのレベルの高さを改めて印象付けた。第1ラウンドでFazioliを選択した10名の中3人がファイナルに進み、第1位、2位、聴衆賞、最優秀ショパン賞、最優秀室内楽賞を含むほぼ全ての賞を獲得した。



第13回コンクール副審査員の中村絃子氏、ミッシェル・ベロフ審査員



第1位
Szymon Nehring (シモン・ネーリング) ポーランド

併せて、最優秀ショパン作品賞、22歳以下最優秀賞、他受賞
1995年生まれ。5歳でピアノを始め、クラクフのF.ショパン中等音楽学校で11年間（2001-2013）オルガ・ラザルスカに師事。2013年よりビドゴシチュ音楽アカデミーでステファン・ヴィタスに師事。2015年の第17回F.ショパン国際ピアノコンクールではファイナリストとなり、聴衆賞、特別賞、芸術賞、ポーランド音楽への貢献賞など多くの賞を受賞。Pro Musica Bona財団（2010年以降）や文化・国家文化省（2010年）、クリスティアン・ツィメルマン財団より奨学金を受けている。ポーランドを代表する現世代のトップクラスのピアニストとして期待を集める。2017年9月より、米国イェール大学でボリス・ベルマンに師事することが予定されている。



第2位
Daniel Ciobanu (ダニエル・チョバヌ) ルーマニア

併せて聴衆賞受賞
1992年生まれ。2010年から、スコットランド王立音楽院で学び（アロン・ショール、ステイブーン・オズボーンに師事）、2015-2017年エコール・ノルマル音楽院（マリアン・リビッキに師事）、現在ベルリン芸術大学に在籍（パスカル・ドゥヴァイヨンに師事）。2011年にはロイヤル・フェスティバル・ホールのコンサートでランランにゲストとして選ばれ、3000人の聴衆の前でソロ曲を演奏。BNDES国際ピアノコンクール（2015年）やUNISA国際ピアノコンクール（2016年）で優勝。懐の深い、華麗な技巧と色彩豊かな音楽性は、巨匠を生み出したルーマニアの系譜を彷彿させる。ジャズも得意とする。



ファイナリスト賞・最優秀室内楽賞・最優秀イスラエルピアニスト賞
Yevgeny Yontov (エフゲニー・ヨントフ) イスラエル

1989年生まれ。6歳よりクファル・サバ音楽院でピアノをアデラ・ウマンスキーに師事。テルアビブ大学ブッフマン・メータ音楽学校でアリエ・ヴァルディに師事した後、イェール音楽大学大学院でボリス・ベルマンに師事し、現在、同大学院博士課程に在籍。ワイドマン国際ピアノコンクール（米国）やテルハイ国際コンチェルトコンクール（イスラエル）で優勝。
2014年にはイェール音楽大学大学院の仲間とイカラス・カルテット（icarus Quartet）を立上げ、カーネギーホールを始めとする主要ホールで演奏活動を展開している。室内楽の上手さと正統派の、力強く謳い上げる技巧には定評がある。

豊洲シビックセンターホール

江東区豊洲2-2-18 豊洲シビックセンター5階 Tel: 03-3536-5061 <https://www.kcf.or.jp/>

電車利用の場合 東京メトロ 有楽町線 豊洲駅下車7番出口より徒歩1分
新交通ゆりかもめ 豊洲駅下車改札フロア直結

バス利用の場合 都バス利用 豊洲駅前下車 徒歩2分

業10 新橋⇄とうきょうスカイツリー駅前 / 海01 門前仲町⇄東京レポート駅前 / 門19 門前仲町⇄深川車庫前、東京ビッグサイト / 東15 東京駅八重洲口⇄深川車庫前 / 東16 東京駅八重洲口⇄東京ビッグサイト / 錦13 錦糸町駅⇄晴海埠頭 / 錦13 折返 東陽町駅⇄昭和大学江東豊洲病院前 / 急行06 森下駅前⇄日本科学未来館（土・休日のみ）

